

(令和6年5月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	5月の総入荷量は、春先の全国的な天候不順の影響によって多くの品目で低調な入荷となり、前年同月比で10%下回った。総取扱金額は、入荷量は少なかったものの、キャベツをはじめとした単価高の影響が大きく、7%上回った。この先、梅雨の本格的な時期を迎えるため、天候状況を注視する必要がある。 6月は、野菜では、賀茂なすや万願寺とうがらし等の果菜類の入荷が増え、青梅が最盛期を迎える。果実では、桃の入荷が始まり、桜桃やすいか等の入荷が増える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は12%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は43%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は32%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は16%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は25%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は4%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で37%上回り、単価は14%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で50%下回り、単価は34%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は3%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で41%下回り、単価は16%上回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は25%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長だいこん	鹿児島、千葉、香川、長崎、和歌山などから入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は７６％上回った。
西洋にんじん	徳島を中心に、長崎、熊本、兵庫、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２７％下回り、単価は４３％上回った。
【葉菜類】	
はくさい	茨城を中心に、長野、岡山、大分、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回ったが、春先の天候不順で大玉が品薄状態にあり、単価は２９％上回った。
キャベツ	愛知を中心に、京都、茨城、千葉、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、暖冬で冬キャベツの切りあがり及早まり、春先の低温で夏キャベツの生育が遅れた結果、瑞境が長くなり、単価は１４２％上回った。
ほうれんそう	岐阜、茨城、福岡、京都、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１１％上回った。
レタス	長野を中心に、山梨、兵庫、徳島、群馬などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％上回ったが、他の葉菜と比べた割安感から引き合いが強く単価は２２％上回った。
【果菜類】	
きゅうり	宮崎を中心に、滋賀、福岡、佐賀、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は３４％上回った。
なす	高知を中心に、岡山、京都、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は１６％上回った。

とまと	熊本を中心に、福岡、三重、京都、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１９％上回った。
ピーマン	宮崎、茨城、高知を中心に、大分、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は３３％上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎を中心に、北海道、熊本、鹿児島、静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回ったが、中旬以降の品薄の影響もあり単価は２７％上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に、長崎、北海道、京都、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は５０％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	熊本、福岡、鹿児島、愛媛、和歌山などから入荷した。入荷量は前年同月比で５３％上回ったが、輸入量が大幅に減少したオレンジの代替としての需要があり、単価は前年同月並みであった。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で５２％下回り、単価は４７％上回った。
いちご	大分、福岡、熊本、佐賀、愛媛などから入荷した。入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は３％上回った。
アールスメロン	静岡、熊本、高知などから入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は１２％上回った。
大玉すいか	熊本を中心に、長崎、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３３％下回り、単価は２４％上回った。